

【レベルと授業形態の対応表】

レベル	判断基準	授業形態	科目対応	対面授業の比率
レベル0	平常時	対面授業のみ	なし	100%
レベル1	感染者が一定程度にとどまっている状態	対面授業 +遠隔授業	全科目	100% (人数は半分ずつ)
レベル2	感染への高度な警戒が必要な場合	対面授業 +遠隔授業	講義科目を全て遠隔授業のみで実施（演習・実習・実技および必修の語学や情報リテラシー等のクラス指定科目を除く）	60%（人数は半分ずつ）
レベル3	感染へのより高度な警戒が必要な場合	対面授業 +遠隔授業	上記に加え、必修の語学や情報リテラシー等のクラス指定科目も遠隔授業のみで実施（演習・実習・実技を除く）	40%（人数は半分ずつ）
レベル4	感染拡大により教職員が出勤できない状態	遠隔授業のみ	なし	0%